

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27年 5月16日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694400013
法人名	株式会社 ハヤシ商事
事業所名	ガーデンハウス忠元
所在地	鹿児島県伊佐市大口里1564番地5 (電話) 0995-29-5007
自己評価作成日	平成27年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年3月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所は伊佐盆地の山並みと市内の街並みが眺望できる自然環境に恵まれた高台にあり、桜名所の忠元公園がすぐ近くにあり。建物の周囲は一面に芝が広がる庭園で、天気の良い日は外気浴や散歩を行っています。健康保持の一環として毎朝健康体操を実施しています。建物には暑さ寒さ対策が施され、木の温もりが感じられる構造になっています。居室にはナースコールがあり安心が確保されています。屋根にはソーラー発電を設置してオール電化を導入しています。事業所内は自由に行き来ができ、ユニット間の交流が図れるようになっています。また、同敷地内には小規模特養があり慰問等がある場合は訪問して交流が行われています。

○ホームは市中心地より少し離れた高台に設置され、周囲には忠元公園、特別養護老人ホームと数件の民家があり眼下には市街地が広がる閑静で自然豊かな環境である。広大な敷地には手入れの行き届いた芝生が広がり、大きな樹木が植えられ、また花壇やベンチも配置されており、利用者は日常的に散歩や日光浴を楽しんでいる。また、ホームは共有部分及び居室共に余裕があり、2重サッシの窓や3層構造の床は空調に有効で、ソーラーシステムによるオール電化と自家発電が導入されている。リビングは、テーブルやソファ、畳部屋、ウッドデッキ等が適度な間隔で配置されゆとりを感じ、よく整理整頓され不快に感じる臭いも無く、清潔で快適な生活が営める環境になっている。利用者は、理念に沿って人格を尊重され、家庭的な環境の中で、地域との交流を継続する等、安心安全な生活を過ごしている。

○ホームは開設以来、地域との交流に積極的に取り組んでおり、広大な敷地の中を近隣の住民が散歩する姿も日常的に見受けられ、家族や親せき、友人の来訪も頻繁にある。楽器の演奏や歌、踊り等のボランティアや保育園児との交流も積極的にを行い、日常的に近隣の人々から農作物を頂くなどの関係が出来ている。また地域の奉仕作業に積極的に参加したり、ホームの夏祭りには約200人の家族や住民の参加がある等、円滑な交流がなされている。

○管理者は何でも言い合える雰囲気づくりに配慮して、日頃から職員の意見や要望、相談等を聞き取り、対応や改善については十分話し合う等、連携してサービスの向上に反映させている。また職員のスキルアップにも熱心に取り組んでおり、ホーム内の研修を計画的に実施すると共に、外部主催の研修にも職員の業務や勤務時間を工夫して受講しやすいように配慮している。職員の資格取得や技術修得も積極的にバックアップしており、信頼と協力体制を構築した働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念を意識し、ケアの振り返りができるように朝礼時理念の唱和を行っている。玄関掲示板に掲げいつでも確認できるようにしている。	ホームの理念に沿って、利用者の尊厳を大切に一人一人の状況に合わせた思いやりのあるきめ細かな支援に日々取り組んでいる。理念は、いつでも見られるように玄関に掲示すると共に、職員が常時携帯するネームプレート裏にも記載している。毎月開催の職員会議や毎朝の申し送り時に、研修やケアの振り返りを実施して、理念の理解と理念に添ったより良いケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し、総会や、清掃活動等の行事に参加している。また、事業所の夏祭りの案内は回覧板を利用させていただき地域の方々との交流を図っている。	開設以来、地域との交流に積極的に取り組み、自治会に加入して地域の状況や行事等を把握し、奉仕作業等にも参加している。家族や友人等の面会が頻繁にあり、事業所の敬老会や夏祭りにも家族や地域住民の多数の参加を得ている。隣接の特別養護老人ホームでボランティアによる楽器演奏や歌を鑑賞したり、保育所の園児との交流をしている。広い敷地を近隣の人が日常的に散歩したり、農作物のおすそ分けを頂く関係が出来ており、利用者はこれらの人達との交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所主催の夏祭りに地域の方々に参加していただけるようにしたり、運営推進会議で現状報告をしたり事業所便りを配布して理解を深めていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の取り組みや入居者状況等の報告を行い、参加者からは積極的に率直な意見を出していただき、サービスの向上が図れるようにしている。	会議は利用者、家族、地域住民、民生委員、行政の参加を得て定期的で開催されている。利用者の現況や行事・問題点、ヒヤリハットの事例、外部評価の結果等の報告を行い、また委員からは地域の情報や防災に関する意見が出されるなど改善や情報交換の場になっている。委員からの助言で菜園を設けたり、写真入りの職員紹介のプレートを廊下に掲示する等具体的な改善が図られている。内容は議事録で共有を図り、日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や地域密着型サービス連絡会、介護サービス事業所等連絡会等で、定期的に事業所の実情を報告したり、直接出向いて助言や協力をいただいている。	市担当者には運営推進会議に出席して頂くと共に、日頃から訪問や電話で、各種の手続きや介護保険更新、運営上の相談に助言・対応して頂くなどの連携を図り、サービス向上に取り組んでいる。また、市や連絡会主催の会議や研修会にも積極的に出席して意見や情報の交換がなされて協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の弊害について学習し、拘束を行わないケアに努めている。言葉による拘束もないよう職員同士注意し合っている。	日中は居室や玄関等の施錠は行わず、職員は日頃から安全に配慮した見守りを徹底して、利用者の自由な暮らしの支援に努めている。外出しそうな利用者には寄り添って対話や散歩、ドライブ等を行って気持ちの安定を図っている。マニュアルを整備し、認知症ケアや虐待防止・身体拘束等に関する研修を定期的実施すると共に、日頃のケアの振り返りで、言葉による拘束も含めて、認識を深め日々のケアへの反映に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について勉強会を行い、虐待のない安心できる環境が提供できるよう心がけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現に日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用している利用者があるため、勉強会を行い制度理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居希望者や家族には事前に見学に来ていただき、パンフレットや重要事項説明書に基づき分かりやすく説明し、納得していただいたうえで入居していただけるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から意見要望が出しやすい雰囲気づくりに努めている。可能な限り意向に添えるように努め、意見箱も設置している。	ご家族の意見や要望等は運営推進会議や来訪、ケアプラン作成時、家族会での対話等を通じて把握に努めている。また、利用者の思いや意見は日常の会話や表情、所作の見守りで把握するように取り組んでいる。職員は「申し送り帳」や「業務日誌」で共有を図り、職員会議や申し送り時に対応を協議してサービスの改善に努めており、経過や結果は速やかに本人やご家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個別面談や職員会議、申し送り時以外にも、日頃の会話の中でも意見を聞くように努め、サービスの向上に繋げている。	管理者は、職員の意見や提案を申し送りや毎月の職員会議、日々のケアの中で、また内容によっては職員個々にあわせた声掛けや面接を行う等、話しやすい雰囲気づくりに努めて把握し、ケアや業務に関する事案には話し合いを実施して業務改善やサービスの向上につなげている。ホーム内外の研修の受講にも熱心に取り組み、職員のスキルアップへの配慮が感じられる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	月々のレクリエーション担当を決めやりがいをもって就業できるようにしている。勤務については、できる限り職員の意向に添えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の事業所内勉強会以外にも希望者は外部の研修に参加してスキルアップを図っている。資格取得に向けた支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡会や介護サービス事業者等連絡会へ参加して、情報交換や勉強会を行い交流を図るとともにサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の身体状況や生活歴・相談内容をアセスメントし、本人の思いを大切にしたり関わりを行うことで、不安の解消や望みの実現に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>要望は出していただき、事業所としてできる限り要望に添えるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族が望む生活ができるように、適切なサービス利用の提示もさせていただいている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に支え合う関係を大切に、個々の能力に応じてできることは一緒にしていただけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と情報を交換しながら、共に支えて行く関係が築いていけるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られる家族や友人を歓迎し、ゆっくり過ごしていただけるようにもてなしている。 又、かかりつけ医院への受診援助等も行っている。	利用者が長年培ってきた馴染みの人や場との関係については、入所時に本人や家族、関係機関等からの聞き取りにより把握し、「アセスメント表」で共有を図り、家族と連携して馴染みの美容室や買い物、通院、墓参り、近隣のドライブ等可能な限り利用者の希望に添って支援している。また来訪された親戚や友人とはゆっくり交流できるように、場所やお茶の提供等に配慮し、遠方の子ども達との電話や手紙の取り次ぎも行い、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日、朝の体操やレクリエーションで入居者同士が交流できる機会を設け、お互いを気遣うことができる関係が構築できるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先へ伺ったり、家族とも連絡を取るなどして関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりの中で、思いを把握できるようにしている。又、個別に要望等を聴くようにもしている。入居者との会話の内容は職員間で共有できるように努めている。	職員は日頃の利用者の表情や言動、また家族からの情報を基にして、思いや意向を汲み取るように努めている。「申し送り帳」や「業務日誌」で共有を図り、家族とも相談しながら面会や外出に繋げるなど、利用者にとってよりよい支援となるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネや病院からの情報以外にも、本人や家族との会話を通じて把握するように努め、望む暮らしが実現できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者に寄り添い接する中で、できることや興味のあることを見だし、生活が充実したものとなる環境が提供できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成する際は、本人、家族の要望や主治医、職員の意見を反映し、現状に即した介護計画が作成できるようにしている。	介護計画は、利用者・家族の意向や、医師を始めとした関係者からの情報を基に、職員全員で意見交換して利用者本位のものを作成している。計画には利用者ごとの課題や目標、日々のケアの方法等を明確にし、ケアの経過は「介護記録」や「業務日誌」に詳しく記録している。利用者の変化する状況の把握にも努め、実態に即した介護計画の見直しや修正が行われている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに日々の様子やケア内容を毎日記録している。その他にも職員連絡帳等を活用して情報共有を図り、適切な対応ができるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて臨機応変に対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	これまで生活して来られた繋がりを大切に、暮らしが楽しめるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の決定は、本人や家族の意向に沿うようにしている。受診付き添いを行ったり、意見を伺うなどして主治医との連携を図っている。	利用者の入所前の既往歴や受診の状況は十分に把握されており、本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。通院は家族もしくは職員が同伴しており、受診結果は利用者毎に個人ファイルに記録され、バイタルチェック表等も活用して医師や家族との情報交換も十分に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>午前・午後の健康チェックで、異常の早期発見ができるようにしている。状態変化時は報告相談行い、医療機関や家族へ連絡し受診援助を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、医療機関へ情報提供を行っている。入院先を訪問し家族との情報交換も行いながら、回復状態に併せて退院支援に結び付けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期や重度化した場合の在り方についての意向を伺っている。医療行為が常時必要になった場合は対応できない場合もあることをお話ししている。事業所としては可能な限り意向に添えるように対応したいと考えている。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、入所時に「重度化した場合の対応に係る指針」で説明して本人やご家族の同意を得ている。重度化した時点で再度説明を行い、本人や家族の意向を尊重しながら、ホームで可能な限りの支援が行える体制を築いている。現在、看取りは行っていないが、終末期対応における職員の不安の除去やケアの質の向上のために、職員会議や外部研修でスキルアップに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDが設置してあり、職員は急変時の対応ができるように定期的に勉強会を開催している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施し、消防署や地域、家族の方にも訓練に立ち合っただき、指導と協力をいただいている。</p>	<p>消防署との連携により年2回、夜間を含む火災・地震を想定した避難・消火・通報訓練を地域住民も参加して実施している。また、消防署職員による防災に関する講話や消火器の取り扱いの研修に併せてホームが自主的にAEDの取扱いや心肺停止時の処置方法を研修している。スプリンクラーや自動通報装置、自家発電の設置や懐中電灯や卓上コンロ、ラジオの整備、災害に備えた食料や飲料水等の準備もされている。また、同一敷地内の特別養護老人ホームや地域住民との協力体制も築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの個性や人格を尊重し、プライドを傷つけない言葉かけや行動をするように職員同士注意し合っている。	利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないように、常に敬愛の気持ちを持って接し丁寧な声かけやケアの実施を日々心がけている。マニュアルの整備や研修も充実しており、各種の個人記録の保管も適切である。情報誌への掲載については利用開始時に説明して同意を貰っている。来年度は接遇マナーの修得を努力目標に掲げ、プライバシー保護についても研修して認識を深める予定である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いが表出できるような働きかけを行い、本人の思いを尊重し、本人が望む支援ができるようにしている。服装も本人を選んで着用していただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、体調や好み、自己のペースに合わせて過ごしていただけるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は職員が定期的に要望に応じて実施している。又、季節に合った服装ができるようご家族に協力を依頼したり、職員が購入支援もしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食の提供や食べたい物を聞くようにしている。下ごしらえや片づけ等できる方にはしていただいている。そば打ちや梅干しづくり等一緒に行っている。	利用者の嗜好、食事形態、疾病や服用中の薬との影響等を十分に把握しており、栄養バランスに配慮したメニューを差入れの野菜等も活用して調理に努めている。季節感のある食材や家族との会食、おせちや誕生会等の行事食、弁当持参の外出（花見等）、手作りのおやつや恵方巻き、そば打ち等を実施して、食事が楽しめるように工夫している。食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや減塩に配慮し、個々に合った食事形態で提供している。食事・水分については過不足のないように支援している。水分補給にはゼリーを提供するなど工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。能力を見極め、できない部分は介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な声掛けや本人の訴えに応じてトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援している。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように排泄チェック表も活用して、不安や羞恥心に十分配慮した声掛けに努めながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。利用者の身体的変動に対しては、実態に即した適切なケアになるように話し合いや介護用品の工夫を繰り返し、ケアプランにも反映させて改善に努めている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や運動、食事内容に留意し、排泄状況を把握して服薬管理に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>午後より体調を考慮し、個々に合った入浴支援を行っている。希望される時は毎日でも入浴できるようにしている。</p>	<p>入浴は基本的には週3～4回であるが、失禁等には随時シャワー浴や清拭を行うなど衛生面にも留意しながら、可能な限り好みの入浴を楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には無理強いしないで、言葉かけや介助者、時間帯の変更を行うなど、気持ち良く入浴して頂けるように工夫している。個浴で支援しており、ボディチェックや皮膚疾患の治療をしながら親密に会話する等、コミュニケーションを図る場にもなっている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>いつでも自由に休息できるようにしている。気持ちよく安眠できるように、空調や採光にも配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容はいつでも確認できるように個々のファイルに綴ってある。薬の変更があった場合は連絡ノートに記載して職員に周知し、観察を行うようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>それぞれの生活歴や得意なことを把握して、役割が持てる環境が提供できるようにしている。能力に応じてプランターの水やりや洗濯・掃除・食事の準備等の一部をしていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>自然環境に恵まれた庭の広い高台にあるため、天気の良い日は散歩や外気浴を楽しんでいただいている。また、四季折々の風物や景色が楽しめるドライブへお連れしている。</p>	<p>利用者の健康状態や天候に配慮しながら、本人の希望に沿って、また家族とも話し合いながら散歩や選挙の投票、ドライブ・墓参り・買い物・一時帰宅などに出かけている。また、行事計画にも組み込んで、初詣、花見、地域の行事(福飾り)の見物など、可能な限り楽しく外出できるように工夫しており、利用者の身体能力に沿って、リフト車や車いす等も適切に活用している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族より預り金として保管しているため、必要なものや欲しいものはいつでも購入できるようになっている。お金を所持できる方は所持されている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望される方には電話をかけたたり繋いだりしている。手紙を書かれる方は職員が投函するなどしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、湿度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花をテーブルや玄関に活けたり、入居者の方と一緒に制作した季節の作品をホールに掲示して季節感が味わえる空間づくりを心がけている。</p>	<p>高台にある広大な敷地は手入れされた芝生に覆われ、建物は木材を基調とした落ち着いた雰囲気になっている。リビングの天井は高く天窓があり、明るくて余裕あるスペースにテーブルセットやソファが適度な間隔で配置されている。広い畳部屋とウッドデッキも設置されており、随所に生花や花鉢、利用者の作品、写真等が飾られて、和やかで落ち着いた雰囲気の中で、利用者は好みの場所で自由に寛いでいる。共有部分全体に余裕があり、空調に配慮して二重サッシや三層構造の床になっており、整理整頓や清掃に心掛け、空調、採光、防臭にも細かに配慮して居心地良く過ごせる環境づくりがなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールに畳の間があり、腰かけて過ごすことができるようになっている。又、廊下や窓際に椅子を置いて気ままにくつろげるようにもしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日用品の持ち込みについては特に制限はしていない。生活しやすい空間を作っている。</p>	<p>各居室にはベッド、エアコン、クローゼット、ナースコールが備えてある。本人やご家族の希望に沿って家族写真や使い慣れた食器、小物、花、人形、身の回り品等を自由に持ち込んで好みの配置にして頂くなど、家庭と同様に落ち着いて過ごせるような空間づくりを支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>屋内は全てバリアフリーになっている。必要な個所には手すりを設け、可能な限り自立した生活ができるように工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を常に意識できるように朝の申し送り後に玄関掲示板に掲げられている理念を唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し総会や清掃活動などの行事に参加して地域の方々との交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所と特養との共同夏祭りに地域の方々に参加して頂けるよう計画している。又、事業所発行の便りや運営推進会議での現状報告で理解を深めて頂けるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者やサービスの実際を報告し、サービスの向上が図れるように積極的に素直な意見を頂けるようにし事業の運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議や地域密着型サービス連絡会で事業所の実情を伝え助言や協力をいただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の学習を定期的に行い拘束を行わないケアに努めている。又、言葉による拘束もないよう取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会で高齢者虐待防止について学び、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現に成年後見制度や福祉サービス支援事業を利用されている方がおられる。勉強会を開催し制度理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>事前に入居希望者や家族に見学に来ていただき、パンフレットや重要事項説明書に基づいて分かりやすく説明するようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者や家族等に意見、要望が言いやすい関係、環境作りを心掛けている。出された意見には可能な限り沿えるように努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や申し送り時の他にも日頃の会話の中で意見を聞く機会を設け、意見が反映できるように努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>日頃から意見を聞く機会を設け、職場環境の整備改善が図れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会へ参加できるよう支援を行っている。事業所内でも毎月勉強会を行い職員のスキルアップを図っている。又、資格取得の支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2カ月に1回開催される地域密着型サービス連絡協議会へ参加し、意見・情報交換や勉強会を行い交流を図るとともにサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の思いや要望を理解し、安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族より要望を出していただき、事業所としてできる限り要望には添えるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族が望む生活ができるように適切なサービス利用の提示もさせていただいている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人ができる範囲で洗濯物干しや片づけ等の家事を一緒に行うようにしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を密にして、共に支えていく関係が築けるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られる家族や友人を歓迎し、ゆっくり過ごしていただけるように、お茶やお茶菓子をお出ししている。また、かかりつけの病院への受診援助を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝の体操やレクリエーションで入居者同士が交流できる機会を毎日設け、お互いを気遣うことができる関係が築けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られてからも訪問・面会を行い関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりの中で一人ひとりの思いや生活の希望を把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族・病院等から聞き取りを行い、情報提供書も利用し暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態が把握できるように、個別の介護記録に日々の様子を記入している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族・主治医・職員からの意見を反映して介護計画を作成するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に日々の様子やケア内容を記録し、職員間で情報を共有できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況、要望に柔軟に対応できるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>これまで生活してきた繋がりを大切にし、暮らしを楽しむことができるよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望に沿った医療機関を受けられるよう支援している。受診付き添いや主治医の意見を聞き連携を図っている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタル測定や健康状態を把握し、状態異常時には医療機関や家族へ報告・連絡を行い、適切な対応が出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院へ情報提供を行っている。定期的に面会に行き病院関係者との情報交換と状態把握に努めている。家族・病院と連絡を取り退院に向けての支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に向けた研修会に参加し事業所で勉強会を行っている。医療機関との連携を図り、本人や家族の意向に沿えるよう事業所で可能な限り対応するよう努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事業所内にAEDを設置しており、急変時には対応できるように講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常時に対応できるように年2回、避難訓練を実施している。地震後の火災発生を想定しての訓練を行い毛布を使つての避難も行っている。災害時の備蓄も確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライドに配慮した対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや要望に耳を傾け、自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、本人の体調やペース、習慣に合わせて生活していただけるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は季節に合ったものを本人に選んでいただいている。希望があれば化粧品の購入や事業所の職員が散髪を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みの把握や食べやすい形態で提供し、安心と楽しみを感じていただけるように努めている。片付け等できる範囲で協力していただき、誕生会や正月等には行事食を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや減塩に配慮している。一人ひとりにあわせた食事形態や量を提供し、水分制限のある方は決められた量をお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりの能力に応じた支援をしている。夜間は義歯の洗浄を行い清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの状態の把握や訴えに耳を傾け、排泄表を参考にトイレの声掛け、誘導を行い失敗を減らし自立支援に繋げている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を把握し、服薬管理・水分補給・運動・食事の工夫を行い便秘の予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後、一人ひとりの状態や意向に沿って支援している。希望があれば毎日でも入浴できるようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や状態に応じて自由に休息ができるように支援している。又、安眠が得られるように室温や照明に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容は個別ファイルに綴り、いつでも確認できるようにしている。薬の変更等は連絡ノートや申し送り時を通して職員に伝わるようにし状態観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や日常の会話を参考に得意なことや興味のあることをしていただき、役割や楽しみ、気分転換が図れるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日は外気浴や散歩を行っている。四季折々の花見学や行事ごとの外出支援を行い、四季を感じていただけるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預かり金として施設で管理しており、希望があればいつでも買い物ができるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話を掛けたり手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井が高く、ゆったりとした空間が確保されている。所々に花や利用者で作成した作品・写真等を掲示し、居心地よく季節感を感じられるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれの席で新聞や読書・テレビを観るなど、自由に過ごしていただいている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われていた物などは本人や家族と相談し持ち込んでいただき、居心地よく過ごせるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は全てバリアフリーになっており、浴室やトイレなどには手すりがあり安全で自立した生活が送れるようにしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない